

Honjo Rotary Club weekly report

Rotary International District 2570 Group 4



No.54-37 第2611回 例会2017年4月27日 (木)
夜間例会

会長 中島高夫 会長エレクト 渋澤健司
副会長 巴 高志 野田貞之 飯塚明男 幹事 坂本雄一
2016～17年度国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム
第2570地区ガバナー 前嶋修身

進行: SAA 坂本優蔵 チーフ

点鐘: 18:30 中島高夫 会長

懇親会

会長の時間

皆さん今晩は 4月の夜間例会にようこそお忙しい中、出席を頂き誠にありがとうございます。本日は午後1時より学卒者就職激励会が商工会議所に於いて行われました。会長として出席してまいりました。男女33名程の新入社員が出席していました。皆さん会社の為又本庄市の為に一生懸命働くという気持ちが力強く感じられました。先週はロータリーの友の二神編集長に、卓話をお願いしてロータリーを知ることで再認識する所も多くあったのではないかと思います。外国人労働者についての話をしたいと思います。

今から24年前、政府が外国人労働者に対して、従来の研修制度を改正されました。日本では現在、少子高齢者化が進展し、労働力人口の減少が問題になっています。今後益々人手不足感は急速に高まる見込みです。その中で注目を集めているのが「外国人労働者」です。国内での労働力人口に占める外国人労働者の比率をみると、欧米諸国の約7～15パーセントの数字に比べ、日本は1パーセントほどと低いですが、今後増える方向にあります。かつ「外国人労働者」の姿は多様であり、どのように彼らを活用していくことが今後の重要なポイントとなると思われます。そこで日本政府は、外国人労働者に対する従来の研修制度を1990年に改正、技術移転により開発途上国の人材育成に貢献することを目指して、より幅広い分野における研修生受け入れを、可能とするような窓を開きました。具体的には、従前の企業単独型の受け入れに加え、中小企業団体等を通じて中小企業等が研修生を受け入れる。団体監理型が導入されました。これによって開発途上国にとっては、そのニーズに合った高い技術、技能等が移

中島高夫 会長



転されやすくなり、同時に日本の中小企業にとっても外国との接点が生まれ、事業の活性化等に役立つようになりました。

更に政府は1993年「外国人技能実習制度」を創設。

これは一定の水準に達した研修修了生を対象に、雇用関係のもとで、より実質的な技能を磨いてもらい、その技術を母国に持ち帰る制度です。

「人づくりを通じた国際貢献」を目的とした、(財)国際研修協力機構 (JITCO) の指導に基づく公的制度です。

現在、この制度を利用して滞在している研修生、実習生の数は11万人に達しているとされ、うち8割強が中国人ということです。もちろん他の国の人もあり例えば、等組合が接しているのはベトナム人ですが、受け入れ先の企業からは大変、好評を得ています。

世界のグローバル化が進む中、増えていく外国人労働者といかに共生していくかが、今後の日本を考える鍵となるのではないかと思います。

幹事報告

坂本雄一 幹事



- 1、本庄商工会議所より
平成29年度通常議員総会の開催についてご案内が届きました
- 2、本庄市交通安全対策協議会より交通安全対策協議会理事会及び評議委員会の開催のご案内が届きました
- 3、前嶋ガバナーより「国際ロータリ一年次大会 (On To Atlanta)」ガバナーナイト開催のご案内が届きました
- 4、国際ロータリー第2570地区 青少年交換委員会より派遣学生2月次報告書が届きました

乾杯

茂木 正 直前会長



手締め

高橋福八 パスト会長



次回プログラム発表

5月11日(木) 第1例会 12:30~

卓話:ボーイスカウト団長 松浦常雄様

テーマ「ボーイスカウトについて」

広報雑誌委員会 山田喜一・岡崎正六・小杉公良・平野 太・藤井 仁

■例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

■事務所 埼玉グランドホテル本庄700号

〒367-0041 本庄市駅南2-2-1

TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄

Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>